山行報告書

報告書作成	2014年1月20日

山名［山域］	穂高山行	目的と方法	雪山山行
登山期間	11月22～23日	山行形態	テント泊
参加人数	1名		

行動記録

11月23日　自宅(5:00) ==岡崎IC(5:30) ==0== 松本IC(8:00)=沢渡PA(9:30)= 釜トンネル(10:20) --
上高地BC（12:00 12:30) -- 横尾冬季避難小屋(15:30) -
11月24日 横尾冬季避難小屋(2:40) - 本谷橋(4:00) - 横尾冬期避難小屋(5:00 9:00)上高地BC(12:00) -

概念図

日誌

10時過ぎに沢渡に到着、駐車場で出会った方と一緒にタクシーで釜トンネル入口まで移動、料金は3000円だった。
釜トンネルは、トラックが頻繁に通り排気ガスと砂埃がすごく、トンネルを通過するとアイスバーンの道が帝国ホテルまで続き、徐々に雪が深くなり上高地バスターミナルで30センチ積もっていた。バスターミナルで昼食後、徳沢園まで行き、コーラとビールを購入して横尾に向かう。
この日は天気がよく気温があがり、雪の状態が悪くなっていくと同時に徳沢園から奥は徐々に雪が深くなっていった。
横尾に行く途中に1組出会い、今日は横尾方面に行ったパーティーは1組だと聞き、目的地は蝶ヶ岳で入山したが、雪が深く断念したとの話を聞く。横尾に到着すると雪は膝上くらいあり、温度が高くこの時間から行くと雪崩の危険があると判断し,深夜から出発し、10時に折り返しに計画を変更して横尾避難小屋で泊まる事とした。
横尾の冬季避難小屋には、常時水が出ている水場があり、小屋が広くとても寒い以外は快適な避難小屋で、
小屋で出会った3名といろいろな話をして20時に就寝した。翌日は2時に起床し、3時には横尾を出発した
。横尾の橋を渡るとトレースがなく、50センチくらいの積雪があったのでスノーシューをはいての行動となった。
その先で、5月の上旬に行った時と同じ状態の登山道がなっていた。しばし歩くと登山道にサルやウサギなどの
足跡に混じり真新しい大きな足跡がこれから行く方向に続いていた。
しかし、途中でなくなるだろうと思いそのまま進むと、本谷橋手前で約30メートル以上前方に黒い大きな4本足の獣がゆっくる歩いているのを目撃してしまい、血の気が引いてしまい、我を忘れて、即回れ右して静かに迅速に来た道を逃走、1.5時間かけてきた道を1時間で横尾に戻った。再度、涸沢に向けて行く気になれず、6時よりお昼寝をし、
9時起床し横尾をあとにし、釜峠に向かう。釜峠までの道は、昨日に通った道だが雪はかなり解けていて、
バスターミナル付近でアスファルトが見え、歩くと次第に路面が乾いていった。
よくよく考えたら、昨日バスターミナルを通った時にも熊らしき足跡があったので、上高地の閉山後は熊が時々バスターミナル付近まで出てきていると考えられる。
今回は予想外の雪で雪崩の危険がある天候の中の入山になってしまって、結果的に熊と遭遇というアクシデントもあり、結果的に涸沢まで行けなかったが
再度時期をみて来年も静かな涸沢にチャレンジしたいとおもいます。